



石神井中だより

練馬区立石神井中学校

校長 山田 美鈴

令和6年11月8日

第7号

SOSの発信力

校長 山田 美鈴



マルチクリエイター**こっちのけん**さんの楽曲である「はいよろこんで」という曲をご存じでしょうか？今年の5月末に配信されてから、あっという間に再生回数が130億回を超えています。海を越え海外でも圧倒的な人気で、英語バージョンでも歌われています（実は本校3年生の英語の授業でも歌っていました）。

ではなぜこの曲が大ヒットしているのでしょうか？この曲の作者**こっちのけん**さんは、自分の生きざまを歌詞に込めて歌っています。社会人となって、理想とする自分を描きながらも偽り繕いながら背伸びして生きていることに辛さを感じ**“あっちのけん”**として客観視します。周囲からの期待に応えなければという思いが募り、いつしか自分らしさを見失っていることに気付きます。どん底状態から這い上がるかのように自分の好きな音楽で自分自身を見つめ**“こっちのけん”**が次第に生まれつつあったと語っています。～以下「はいよろこんで」歌詞抜粋～

後一步を踏み出して 嫌なこと思い出して 奈落音頭奏でろ「・・・」
もう一步を踏み出して嫌なこと思い出して 鳴らせ君の3～6マス「・・・——・・・」
ギリギリダンス ギリギリダンス（踊れ） ギリギリダンスギリギリダンス（もっと鳴らせ）

歌詞中の「・・・——・・・」はモールス信号で Save Our Souls（助けて！）を意味していてトントントン（短点）=S とツーツーツー（長点）=O の構成、つまりは SOS の意味です。自分らしさを見失って生き辛さを感じているなら SOS を発信しよう！と呼びかけている、勇気を与えるような元気の良い曲です。

さて私が最近重要視したいと強く感じていることはこの曲にあるように「SOS を発信する力（勇気）」です。人との関りの中で“辛い、苦しい、嫌だ”と感じた時に言葉や態度で示すことはとても大切だと思うのです。人権尊重の理念は「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」とあります。（東京都教育委員会作成：人権教育プログラム）

自分を大切にすることで、他の人をも大切にしようという思いやりの心が生まれてきます。

毎日のようにニュースで取り上げられている“闇バイト”も、SNS を通じて巧妙な手口で実行役を勧誘しますが、断る勇気（SOS を発信する力）がなく、いつの間にか予期せぬ犯罪加害者になってしまっている事件と言えるでしょう。時代とともに社会現象は変化していきますが、自分を大切にするためのSOSの発信力は身に付けておいてほしいものです。

令和4年に改訂された「生徒提要」のくいじめ防止につながる発達支持的生徒指導>の中に「成長途上にある児童生徒が甘えたり弱音を吐いたりして信頼できる大人（教職員や保護者など）に援助希求を表出することは、適切に依存できるネットワークを築いて自立へと踏み出す一歩である」と記載されています。

11月は「ふれあい月間」です。学校ではすべての生徒が安心して楽しく生活できるよう、努めてまいります。そして何かあったら勇気をもってSOSを発信できる環境づくりにこれからも取り組んでまいります。